

日本語教師養成講座 中級演習 14 回め講義

授業	中級技能指導	出席：9名欠：高橋	リアル6名：大嶋/前川/大浦/那須/中川/菜
授業日：令和3年2月3日(水)	午前	担当：平岡 佳梨加 (ひらおか よりか)	
目的	中級も教えられる教師になる		
到達目標	伝える・伝わる		
授業ポイント	試験・評価 試験について 試験・アセスメント・評価の関係		
準備	PPT、広角レンズ	準備物	評価表・学生録画ビデオ
時間	講義内容・活動		指導上の留意点
1コマ	「試験」 試験の種類 ・何のために試験をするの？ ・学習者の何を図るの？ 試験・アセスメント・評価の関係		評価は教師の授業評価でもある
2コマ	・自己評価 ・他者評価 ・教師評価		・評価前と評価後の学習者を比べて →学生録画ビデオを見る ・ループリック
3コマ	視聴後質疑・応答 本日の気づき 2月10日 トピック発表授業実施の準備確認		→教師役：ミッティ/発表者：大嶋・中川 3グループに分ける (城田・大浦) (前川・那須) (菜・野村)

中級演習

平岡 佳梨加

yorikahiraoka@gmail.com

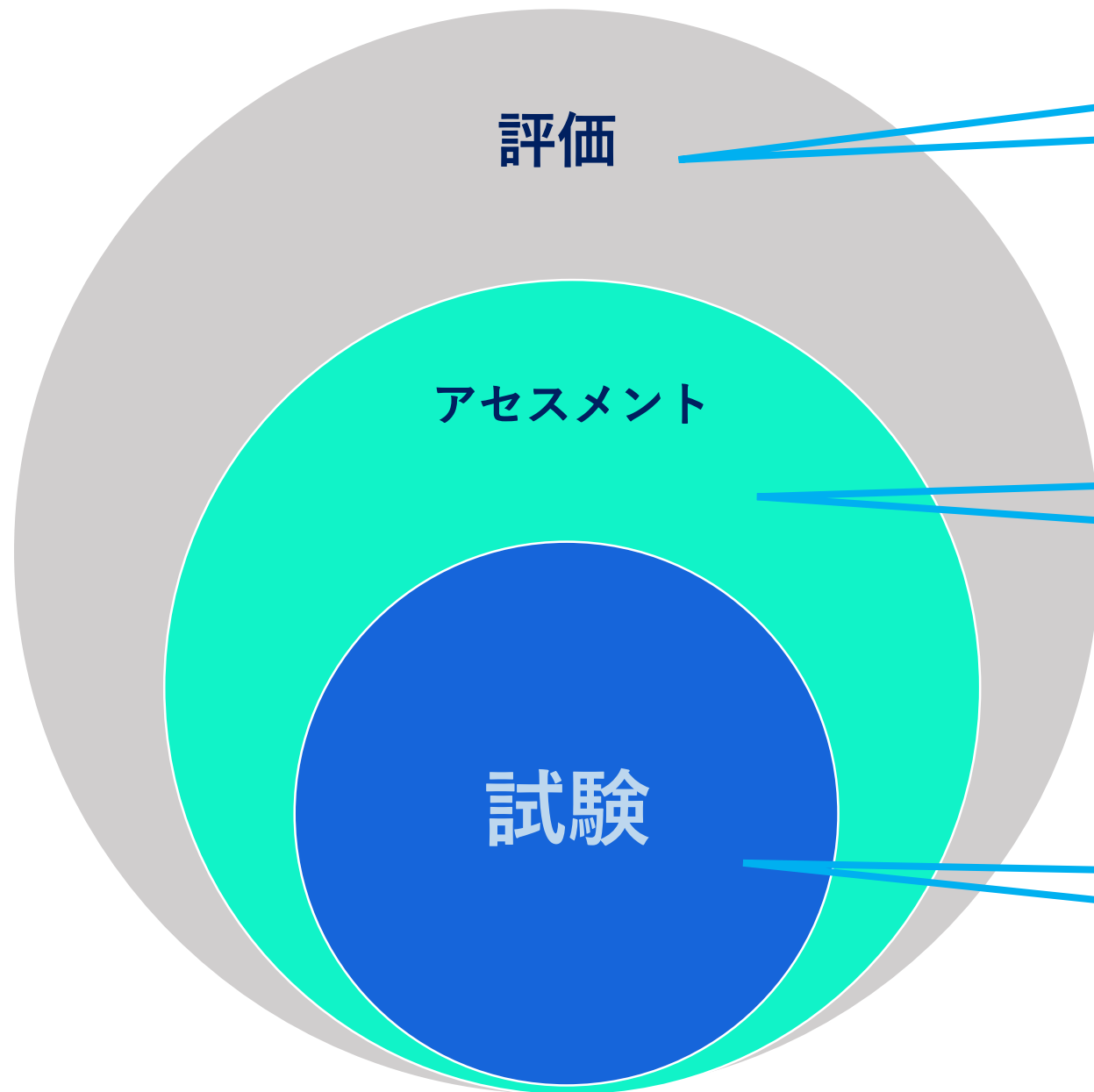
試験・評価

試験の種類

• 何のために試験をするの？

• 学習者の何を図るの？

評価・アセスメント・試験の関係



日常的なさまざまな価値判断

行動観察、Can-do statements

ノート、提出物、ポートフォリオ等

筆記試験

パフォーマンス・テスト

評価

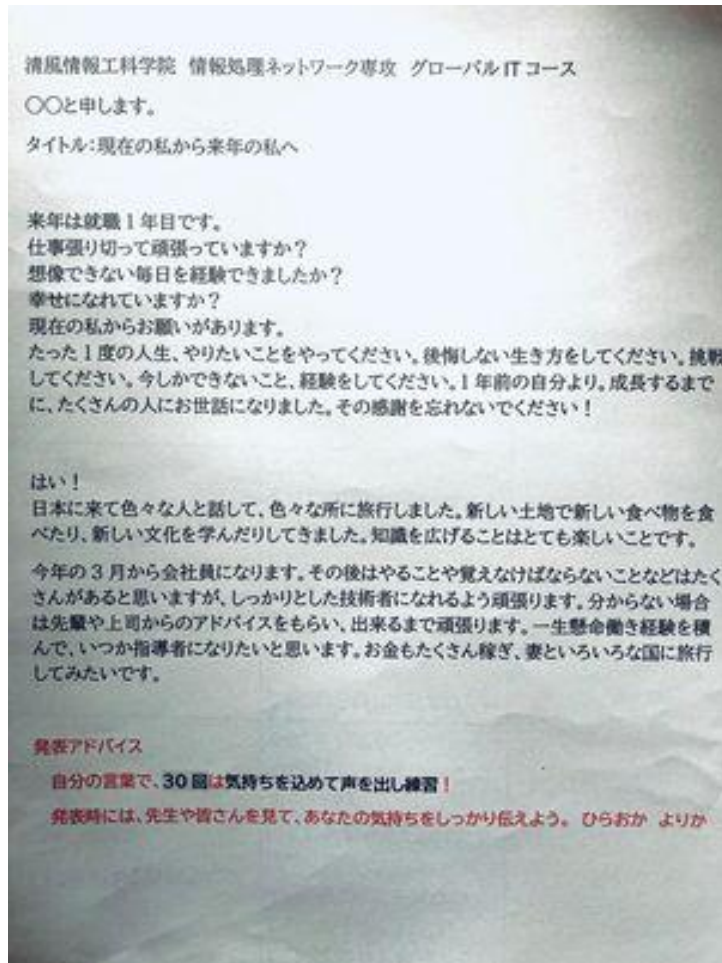
自己評価

他者評価

教師評価

① 事前の自己評価項目

文を書く



	する	しない	
	1	0	0の理由
1先生に提出した	1		
2記述は自分で何も見ずに書いた		0	インターネットで調べました。
3提出後、直した文を確認した	1		
4わからない言葉は調べた	1		
5自分で書いた文章を相手に伝えるための練習をした	1		
	合計	4	

②

事後の自己評価項目

授業後**即**提出

	できた	あまりできなかった	
	1	0	
1 発表文の内容を、最終確認した	1		
2 発表文は声に出し読む練習を、5回以上した	1		
3 発表文に気持ちを込めて読む練習を、5回以上した	1		
4 発表後、友達や教師とのやりとりが上手にできた	1		
5 練習したことを発表の時に、相手にうまく伝えられた		0	緊張しすぎて、うまくできなかった。
合計点	4		

③ 事後の他者評価項目

授業後**即**提出

感想	自信をもって、うまく話せました。よくがんばりました。			
		できている	あまりできていない	
		1	0	アドバイス
1	身だしなみ（髪型、服装）が清潔である	1		
2	学校名、No、氏名、タイトルが正しく言える	1		
3	話している日本語が、はっきりしていて聞き取れた		0	ゆっくりと話したらはっきりに発表できると思います。
4	伝えたい内容が、気持ちを込めて発表されていた		0	友人と話している気持ちで、たくさん練習してみるのがいいと思います。
5	相手の顔(画面)を見て、伝えていた	1		
	合計		3	

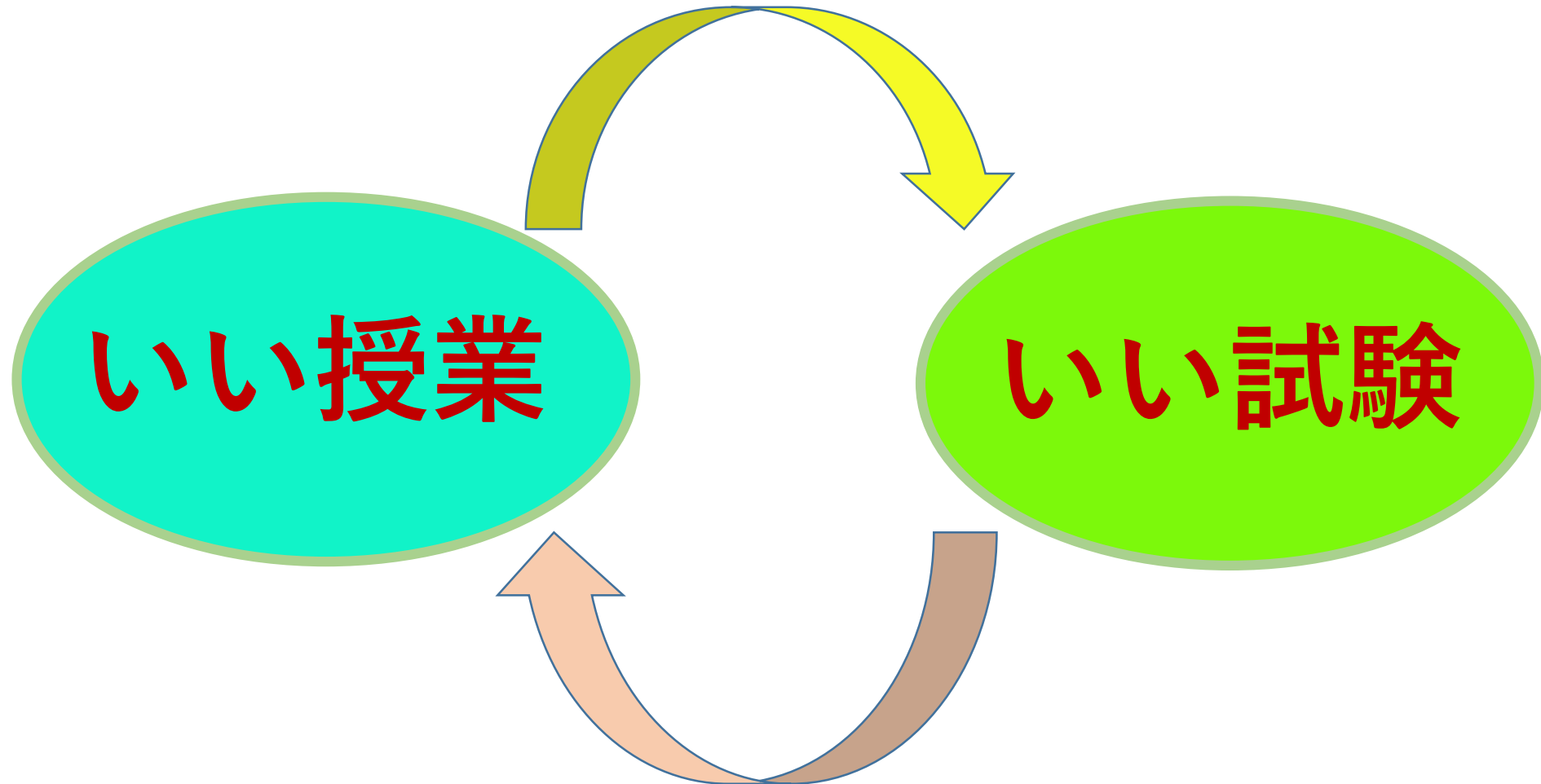
④

事後の自己・他者評価

授業後配信 1

自己評価		評価	
5	練習したことを発表の時に、手にうまく伝えられた	相	0 もっと練習してうまく伝えたいです。
他者評価		評価	
4	伝えたい内容が、気持ちを込めて発表されていた	0	難しいのはわかりますけど、出来れば笑顔で話しましょう。
		0	もっと自信をもったほうがいい
感想 自信を持っていなかった。 緊張していたが、伝えたい内容は気持ちを込めて、発表されていた。 がんばりましたが、聞き取れなかったところがまだ多かったです。 もっと練習したほうがいいです。			

学生につけさせたい力！



受講生

- ・ 視聴後の感想 ・ 学び

2月10日実施

中級レベル

トピック発表2

教師役1名/発表者2名/グループ3 (2. 2. 2)

中級演習

平岡 佳梨加

yorikahiraoka@gmail.com